

GAH NEWS

RILAC

No. 18

平成 26 年 9 月

公益財団法人

荒川区自治総合研究所

荒川区民総幸福度
GAH-Gross Arakawa Happiness



幸せリーグ 第2回総会 開催！

幸せリーグ、正式名称「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」（会長 西川太一郎荒川区長）は、昨年6月に荒川区が発起人代表となり、行政の究極の目標である「住民の幸福実感向上」に向けて、各自治体が連携し、互いに学び、行政運営の一層のレベルアップ、さらには真に住民本位の自治体運営を目指す組織として発足しました。その後も参加自治体が増え、全国的な広がりをみせています。

去る6月4日、サンパール荒川にて「幸せリーグ 第2回総会」が開催され、全国から大勢の首長の皆様等が集まりました。活動2年目となる今年の総会では、幸せリーグ顧問である小宮山宏先生（前東京大学総長、三菱総合研究所理事長）、神野直彦先生（東京大学名誉教授、地方財政審議会会長）、坂田一郎先生（東京大学教授）のあいさつをはじめ、広井良典先生（千葉大学教授）による基調講演が行われました。

また、幸せリーグ幹事自治体であるつくば市および京丹後市からは、幸せリーグの1年間の活動として、各自治体の実務担当者で構成される実務者会議での検討状況などが報告されました。

このように、幸せリーグは、各首長のリーダーシップのもと、実務者会議で議論を深めるとともに、メール等を活用し、各自治体の先進的な取り組みなどを積極的に情報交換しています。

幸せリーグ参加自治体の特色ある取り組みや、学識経験者による論考を紹介！！

「幸せリーグ」
の
挑戦

「幸せリーグ」事務局 編



「幸せ」は
山の彼方ではなく
あなたのすぐそばに！！

特別顧問 特別編集委員 橋本五郎 三書堂

4月28日三省堂発行
本体価格 九七二円（税込）

GAH推進リーダー にお聞きしました！

荒川区医師会 会長
富田 崇敏 氏



荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハピネス：GAH）向上の取り組みを一層推進していくために、GAH推進リーダー会議を設置しています。今回は、GAH推進リーダーとしてご活躍いただいている富田荒川区医師会会長へインタビューを行いました。

—GAH、地域コミュニティへの思い

GAHという幸福度の指標を提唱し、それを区政に導入したのはとてもユニーク。このGAHの向上には地域コミュニティが重要です。子どもたちを中心とした人間の成長の見守り、地元での看取りなど、GAHと地域コミュニティとの関係性は深い。人間関係が希薄化する中で、コミュニティをさらに堅固なものとし、互いに協力する社会を築いていくためには、医療に携わる者として、狭い意味での医療だけやっているのではなく、地域のサポーター、リーダーにならなければならない、それが私の思いです。

—健康・福祉分野で考えること

健康は幸福の根幹をなす条件のひとつです。健康上何の問題もなく、日常生活が送れる「健康寿命」の後、平均寿命までの期間は、男性で約9年、女性で約13年とされています。この健康寿命と平均寿命の乖離は医療費の面でも問題です。区では全国的にも先進的な試みとして、糖尿病の重症化予防を行っています。去年は43名の方が参加し、かなりの効果をあげました。ただ、自覚症状がないこともあり、参加者がなかなか集まりづらいという課題もあります。がん検診も同じ。また、区では、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導も実施していますが、これも同じです。荒川区の平成25年度の特定健康診査等の受診率は47.5%、特定保健指導の実施率は9.9%です。やはり健康に対する認識、関心の問題だと思います。健康に関心のある区民の方も徐々に増えてきましたが、病気が見つかったからでは大変ですから、啓発をして区民の皆さんの病識を確立させることが大切です。

—GAH向上のために、いま必要なこと

GAHの指標を中心にアンケート調査が行われ、報告書も公表されました。ここから大切なのは、色々な意見や思いを聞きながら最後のツメをすること。子どもたちを含めて、区民の皆さんが本当に幸せを享受できているか、その結論は当事者である区民が出すものだと思います。この最後の結果が一番大事。

それから、荒川区の子どもたちにこれからも荒川区にずっと住んでほしいと思っています。荒川区の先人たちが築いてきた歴史を、子どもたちが学ぶことによって荒川区を知り、住みよい地域になっているんだということを感じ取ることは、地域への愛着、そしてGAHにもつながることだと思います。

▼第2回GAH推進リーダー会議
(26年3月29日)



Information ～お知らせ～

この度、障がい者の「親なき後の支援に関する研究プロジェクト報告書」が完成しました。報告書は右記閲覧場所や下記ホームページでご覧いただけるほか、荒川区自治総合研究所で販売もしています。ぜひご覧ください。

◆閲覧場所◆

- ・区役所北庁舎3階自治総合研究所
- ・区役所2階情報提供コーナー
- ・各区民事務所・図書館



編集発行 公益財団法人荒川区自治総合研究所

〒116-0002 東京都荒川区荒川 2-11-1

TEL : 03-3802-4861 FAX : 03-3802-2592

HP : <http://www.rilac.or.jp/> E-mail : info@rilac.or.jp

リラック

荒川区自治総合研究所（RILAC）は、区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点で調査研究を行い、区に政策提言等を行うことを目的とした機関です。